



下野市立南河内第二中学校

平成29年度

第 10 号

# 校長室だより

H29.10.26  
発行者  
上野 保久

## 前期終了、後期開始。振り返りと心機一転！



前期終業式にて反省を各学年の代表に述べてもらいました。また、後期始業式には、後期の抱負を述べてもらいました。それぞれの発表を聞いて、たいへん重要な気づきや意気込みを感じました。以下に要約しました。

### 前期の反省

- 1年 I・Jさん  自分の成長が実感できた充実した前期であった。学習については課題が見えてきた。油断せずに1点の重みを感じて取り組みたい。
- 2年 O・Aさん  振り返ると、努力することの大切さとたいへんさを感じた。もっとできたのではないかと反省する。自分に自信を持って成長したい。
- 3年 R・Oさん  最後の年。実行すると決めたら、すぐにその目標に向かって努力すべきであったと反省。たくさんの応援、支えに感謝。受験生として、しっかり取り組んでいきたい。

### 後期の抱負

- 1年 H・Yさん  笑顔で元気な挨拶を心がけたい。他の人の仕事にも意識を向け、プラスアルファの生活をしたい。
- 2年 S・Kさん  新人大会の反省から、部活動に精一杯取り組みたい。目標を持って勉強にも取り組みたい。先輩としての自覚をもって生活したい。
- 3年 H・Tさん  最後の時、一日一日を大切に過ごしたい。後悔のないよう頑張りたい。受験はひとつの試練、受験は団体戦。勉強にベストを尽くしたい。また、全校生徒が一体感のある夏椿祭にしたい。

私は、「振り返ること」の大切さと、「3月になってほしい自分」の姿を思い描いて、それに向かって生活してほしいということを生徒たちに話しました。

## 後期学級委員が決まりました。

学級委員は学級の『舵取り役』です。『舵取り』とは、船の方向を定めることです。転じて、物事がうまく進行するように良い方向に誘導するという意味です。学級委員がうまく舵がとれるよう、みんなで協力してほしいということを任命式に話しました。学級委員の皆さんは、クラスのリーダーとなって、学年末までの「しめくくり」をよろしくお願いします。(敬称略)

**申し訳ありませんが、省略いたします。**



## これはおすすめ私の一冊



### 『くじけないで』

柴田 トヨ (しばた とよ) 著 飛鳥新社 952円

筆者は、明治44年、栃木市に生まれました。90歳を過ぎてから詩作に目覚め、新聞の文芸欄への投稿を始めました。以来101歳で亡くなるまで、読む人を励ます詩を作り続けました。無理をせずに、自分の人生を大切にしながら前向きに生きる著者。やさしく素朴な言葉で書かれた詩を読むと、私も励まされたり、希望を与えられたりします。私は次に示しました『自分に』という詩が好きです。何かとストレスの多い毎日ですが、著者のユーモアに、ほっとさせられます。

#### 自分に

ぽたぽたと 蛇口から落ちる涙は 止まらない  
どんなに辛く 悲しいことがあっても いつまで くよくよして  
いては だめ  
思いきり 蛇口をひねって 一気に涙を 流してしまうの  
さあ 新しいカップで コーヒーをのみましょう

## お知らせ

- 10月31日(火)は『自分で作る 弁当の日』です。  
目的は、①「食への関心を高め、感謝の心を育む。」  
②「食事について親子で共に考える機会にする。」  
③「自分の健康を考え、栄養バランスや調理方法を工夫しながら実践する力を身につける。」  
というものです。ご理解、ご協力、よろしくお願ひします。  
なお、当日の部活動の朝練は中止になります。
- 11月の部活終了時刻は**17:00**です。完全下校時刻は**17:15**になります。帰宅時刻をご確認いただき、事件・事故防止にご協力ください。帰り道が暗い所が多い場合は、懐中電灯を利用したり、明るい道を選んで通るなど、ご家庭でも話し合っただけるとありがた いです。



## 校長室の窓から

- 9月のある日のことです。午後4時半からの会議があるので、放課後に校長室を出ました。忘れ物をして部屋に戻ると、校長室にある洗面台の前に生徒がいました。「あれっ!」と言うと、その生徒も驚いた様子でこちらを見て「こんにちは」と言いました。その生徒は保健委員の生徒で、流しの中を雑巾で拭いてくれていました。それから石けん液のポンプを洗いました。その時、“ああそうだったのか”と合点がいきました。朝出勤すると、流しがきれいに乾いていたことが何度もあったのです。もちろん校長室掃除の生徒は毎日一度はきれいにしてくれています。申し訳ないと思いながら、きれいになった流しを使います。私が気づかぬ所でも、生徒がやってくれていたのだなど、その心遣いに感謝しました。
- これも9月のある日のことです。朝の出勤時にピロティを歩き始めたとき、きれいな歌声が上から響いてきました。音楽室前の廊下に横一列に並んだ合唱団員が、二中の発表曲『やわらかいいのち』を歌っていたのです。思わず立ち止まり、しばし、その歌声に聞き入りました。朝のピロティに響き渡る歌声。なんと心に響くものでしょう。感動しながら聞き入りました。生徒たちの笑顔が見えます。私に聞かせてくれているのだなと思いました。  
残念ながら、今回の台風関東直撃で『栃木県学校音楽祭中央祭』は中止になってしまいましたが、心を一つにして歌うことの楽しさや充実感を味わったのではないかと思います。

